

# 研修参加報告書

平成29年11月15日

会派名 リフォームの会  
会派代表者 山 登志浩

(参加者：山 登志浩、中野 裕二)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

|      |   |
|------|---|
| 年月日  | 平成29年4月28日(金曜日)                           |
| 研修時間 | 10時00分～11時45分                             |
| 研修場所 | 参議院議員会館(東京都千代田区)                          |
| 研修内容 | 子育て支援について<br>(厚生労働省、内閣府、内閣官房担当者からレクを受ける。) |

②

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 年月日  | 平成29年4月28日(金曜日)       |
| 視察時間 | 13:15～15:00           |
| 視察先  | 埼玉県越谷市ママスクエア越谷レイクタウン店 |
| 視察項目 | 子育てと働くママの環境整備について     |

# 研修参加報告書

①

|   |   |
|---|---|
| 年月日   | 平成29年4月28日（金曜日）                           |
| 研修時間  | 10時00分～11時45分                             |
| 研修場所  | 参議院議員会館（東京都千代田区）                          |
| 研修内容  | 子育て支援について<br>（厚生労働省、内閣府、内閣官房担当者からレクを受ける。） |
| <b>■目的</b><br>江南市は近年、「子育て先進市」を目指して、子育て支援策の充実に力を注いでいる。そのため、政府の「子ども・子育て新制度」の最新の動向を把握し、江南市の実情にあった施策に取り入れていきたいと考えている。   |   |
| <b>■内容</b><br>2016年4月1日現在の待機児童数は23,553人で、前年度と比較して386人増加した。そのうち、1・2歳児が全体の71.1%を占めている。待機児童は年度後半になると増える傾向にある。<br>女性（25歳～44歳）の就業率と1・2歳児保育利用率ともに、年々上昇傾向にあり、同日現在の利用率は41.1%であった。両者には正の相関関係がある。つまり、1・2歳児をきちんと受け入れできている自治体ほど、女性の就業率が高くなっている。<br>政府は待機児童解消に向け、2013年度から17年度末までの5年間で、約48.3万人分の受け皿拡大を図っている。この他、企業主導型保育事業により約5万人分の拡大を進めている。<br>他方で、保育人材（約9万人）の確保が喫緊の課題である。保育士は全産業と比較すると、月額11万円も賃金が低い。保育士の有効求人倍率は2017年1月に2.76倍にまで上昇し、高い水準となっている。そのため、政府は、消費税増税分などを財源に処遇改善を進めている。さらに、研修による技能取得により、民間の保育士がキャリアアップできる仕組みを構築し、月4万円の賃金アップを目指している。 |   |
| <b>■所感</b><br>家庭の経済状況が厳しいため共働き世帯が増えており、今後も1・2歳児の利用率は上昇していくであろう。ある意味で、待機児童問題は保育士の人材確保問題であるといえる。江南市は待機児童ゼロであるものの、未満児が増えていくことを念頭に、保育士の確保に注力していくべきだ。<br>そのため、江南市は非正規保育士の処遇（特に賃金）を改善することはもちろん、   |   |

正規職員を増員する方向で人材確保に努めるべきだ。

また、シティープロモーションを推進する観点から、子育て世代に対して、待機児童ゼロを積極的にアピールすべきである。

企業主導型保育事業は、待機児童解消の一助として民間の力を借りるものである。待機児童問題が深刻な都市部を対象とした事業であり、江南市内で事業化の動きはないが、政府の施策は細目に把握しておくべきだ。

政府は、マイナポータルで子育てワンストップサービスを推進している。しかし、マイナンバー制度に対する国民の理解が進んでいない現状で、オンライン化などは普及しないだろう。それよりも、江南市は、現在進めている子育て支援策の周知徹底に努力すべきだ。

# 行政視察報告書

②

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 年月日  | 平成 29年 4月 28日 (金曜日)   |
| 視察時間   | 13:15～15:00           |
| 視察先  | 埼玉県越谷市ママスクエア越谷レイクタウン店 |
| 視察項目   | 子育てと働くママの環境整備について     |
| <b>■目的</b><br>子育てと働くママの環境整備について埼玉県の先進的取り組みから学び、子育て先進都市を目指す江南市に役立てられる事はないか研修する。   |                       |
| <b>■内容</b><br>企業主導型保育事業について<br>企業主導型の事業所内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、保育所待機児童の解消を図り、仕事と子育てとの両立に資する事を目的として企業主導型保育事業の実施をしている。<br>ママが子どものそばで働ける保育園でもない在宅でもない新しいワーキング制度がママスクエアである。<br>ママスクエアのメリット<br>・ 職場とキッズスペースが同じ場所にあるので、預け先を探さなくてもよい<br>・ 職場のすぐ横のキッズスペースで子どもが遊んでいるので、安心して働ける。キッズスペースにはスタッフが常駐しており、子どもの面倒を見てくれている。<br>・ 子どもと一緒に出勤できるから送り迎えの必要がない。<br>・ 子どもの行事を優先して働く時間は希望性にしている。<br>・ 仕事仲間は働くママばかりだから子育ての大変さをしているの、相談ができ、助け合える環境にある。<br>・ 低年齢児の子どもを持つママは保育園入園までの期間を利用し、その後は入園させる場合もある。 |                       |
| <b>■所感</b><br>関東圏では、待機児童が深刻な問題であり、働きたくても働けないママがこれだけ多い事に驚き、解消の一躍を担っていた。キッズスペースの周りにはカフェスペースも併設されており、一般客も利用ができ、ママ達の情報交換の場所としても大いに役立っている。子育てしているママ達は孤独で中々、相談できる相手がいなく困っているが相談できる場所にもなっているので、ママカフェは江南市でも是非、検討するべきと感じた。  |                       |

